

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 月 日

船橋市長殿



提出者

住所 千葉県船橋市湊町2-12-3  
 株式会社風間建設工業所  
 氏名 代表取締役 風間 新太郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-434-2125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 風間建設工業所
事業場の所在地	千葉県船橋市湊町2-12-3
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

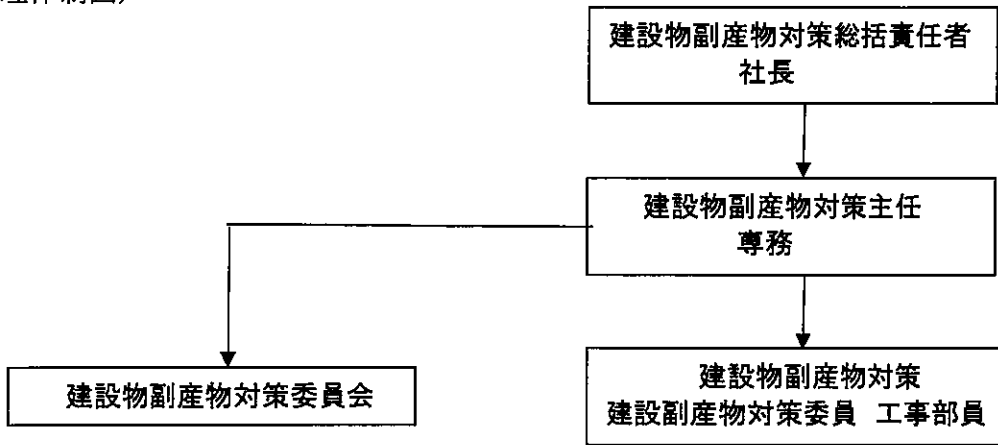
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：土木・舗装・とび土コンクリート工事業・解体
②事業の規模	前年度請負金額 13億
③従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート塊、アスファルト塊、その他がれき類の分別。 自社運搬にて分別を行う。 積込時の目視確認。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の分類。 社内、現場内での社員および協力業者の指導の実施。 対策管理責任者の配置。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら類	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず
	排出量	3,025.59 t	331.22 t	824.8 t	158.65 t	5.12 t
	（これまでに実施した取組） 発生したコンクリート・アスファルト塊等のがれき類は全て再生資源化施設工場（中間処理施設）へ搬出。 委託処理業者の処理施設状況等の確認及び、運搬車両の追跡調査。					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら類	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず
	排出量	3,000 t	340 t	820 t	155 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） 混合廃棄物の分類実施による現場リサイクル。 マニフェストによる数量を把握し日々、集計・管理を行う。 社員および協力会社への更なる指導。 適切な舗装厚での仮復旧を行い、本復旧で廃棄物が増加しない様施工する。 施工面積を確認し、不必要な打替えをしない。					

## 別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃プラスチック類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず
	排出量	15.058 t	14.69 t	0.12 t	1.36 t	8.68 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>発生したコンクリート・アスファルト塊等のがれき類は全て再生資源化施設工場（中間処理施設）へ搬出。</p> <p>委託処理業者の処理施設状況等の確認及び、運搬車両の追跡調査。</p>					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃プラスチック類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず
	排出量	15 t	14 t	0.5 t	1.5 t	8 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>混合廃棄物の分類実施による現場リサイクル。</p> <p>マニフェストによる数量を把握し日々、集計・管理を行う。</p> <p>社員および協力会社への更なる指導。</p> <p>適切な舗装厚での仮復旧を行い、本復旧で廃棄物が増加しない様施工する。</p> <p>施工面積を確認し、不必要な打替えをしない。混合廃棄物の分類実施による現場リサイクル。</p>					

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和2年度）実績】				
① 現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら類	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず*
	全処理委託量	3,025.59 t	331.22 t	824.8 t	158.65 t	5.12 t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	3,025.59 t	331.22 t	824.8 t	158.65 t	5.12 t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>発生したコンクリート・アスファルト塊等は全て再生資源化施設工場（中間処理施設）への搬出。</p> <p>委託処理業者の処理施設状況等の確認及び、運搬車両の追跡調査。</p>					



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】					
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃プラスチック類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず
全処理委託量	15.058 t	14.69 t	0.12 t	1.36 t	8.68 t
優良認定処理業者への処理委託量					
再生利用業者への処理委託量	15.058 t	14.69 t	0.12 t	1.36 t	8.68 t
認定熱回収業者への処理委託量					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
<p>① 現状</p> <p>(これまでに実施した取組)</p> <p>発生したコンクリート・アスファルト塊等は全て再生資源化施設工場（中間処理施設）への搬出。</p> <p>委託処理業者の処理施設状況等の確認及び、運搬車両の追跡調査。</p>					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら類	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず
	全処理委託量	3,000 t	340 t	820 t	155 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量	3,000 t	340 t	820 t	155 t	5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>混合廃棄物の分類</p> <p>がれき類の現場搬出時での分別・積込。</p>					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃プラスチック類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず
	全処理委託量	15 t	14 t	0.5 t	1.5 t	8 t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	15 t	14 t	0.5 t	1.5 t	8 t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>混合廃棄物の分類</p> <p>がれき類の現場搬出時での分別・積込。</p>						

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 3年 月 日

船橋市長 殿



提出者

住 所 千葉県船橋市湊町2-12-3

氏 名 株式会社風間建設工業所

代表取締役 風間 新太郎

電話番号 047-434-2125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社風間建設工業所
事業場の所在地	千葉県船橋市湊町2-12-3
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業 小分類:土木・舗装・とび土コンクリート工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

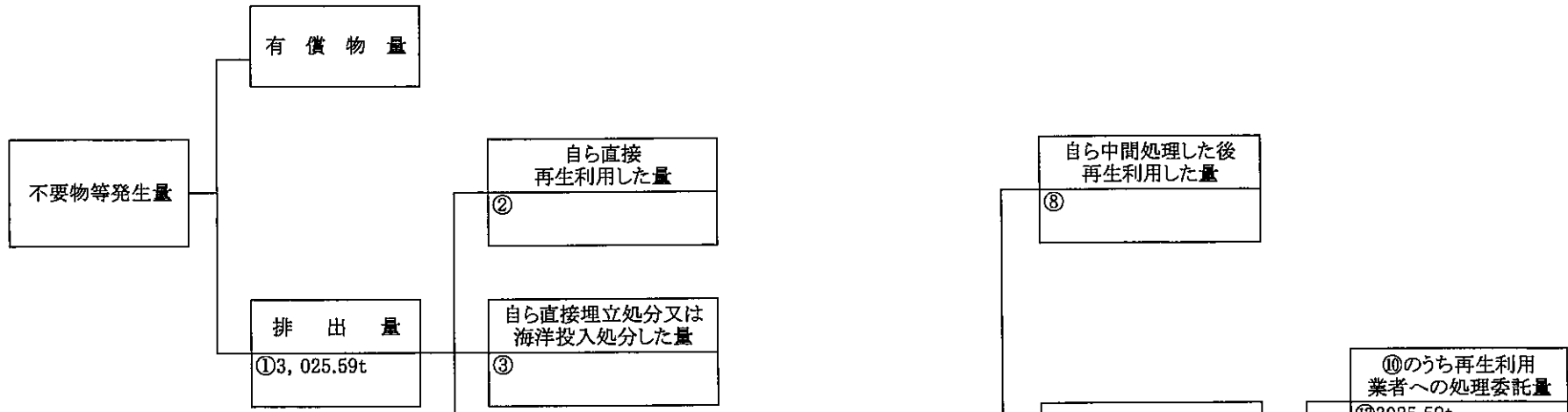
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,283.4t	全処理委託量	5,283.4t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5,283.4t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

計画の実施状況

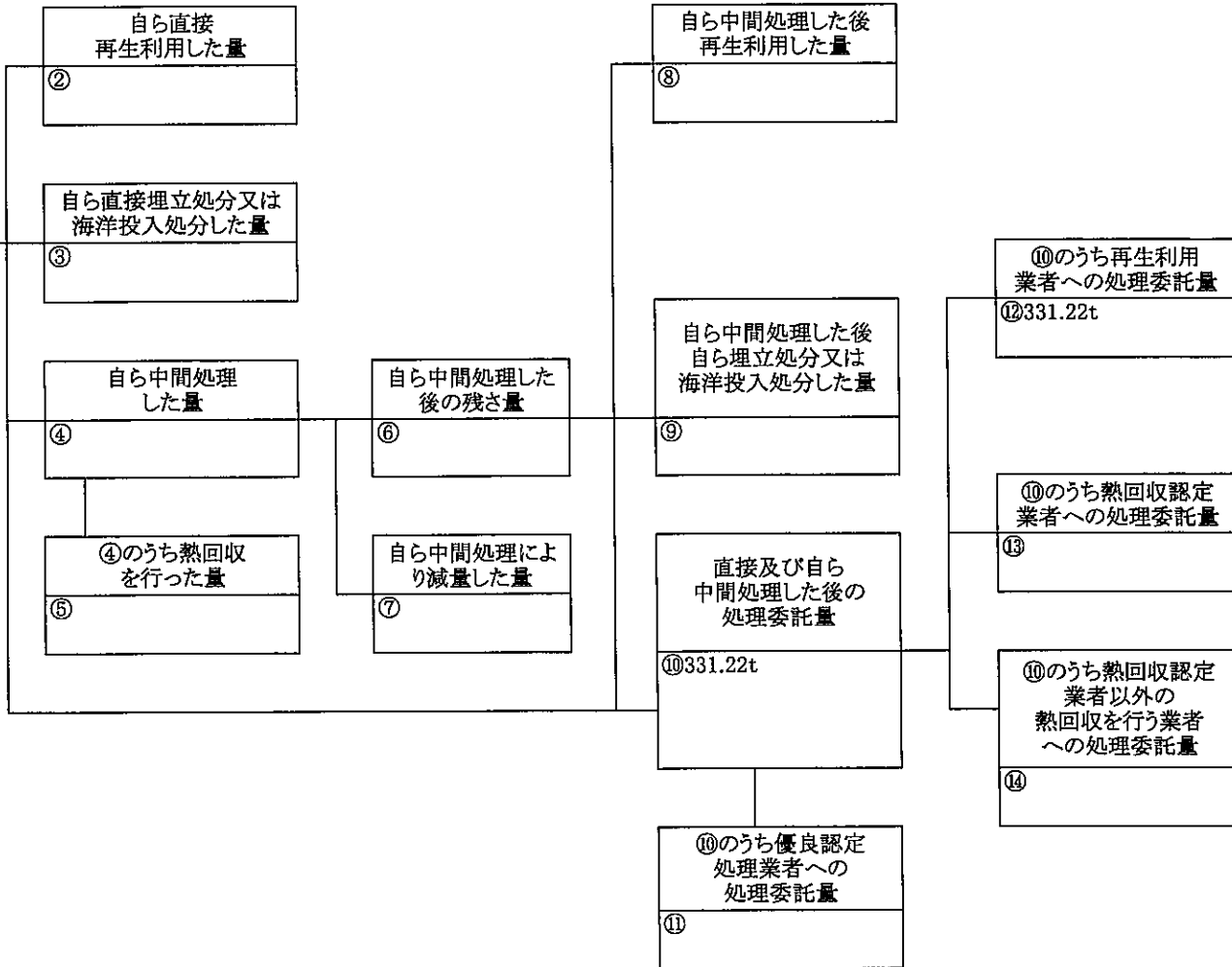
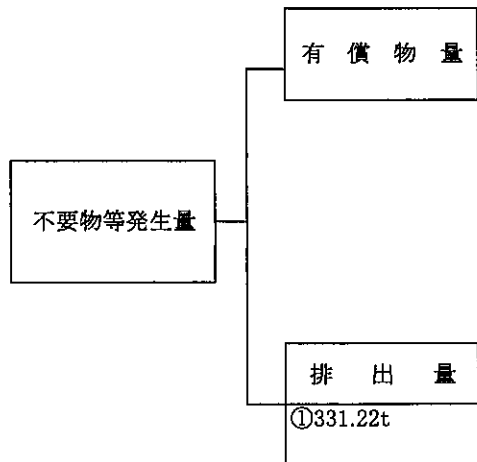
(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら )



項目	実績値
①排出量	3025.59t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	3025.59t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	3025.59t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

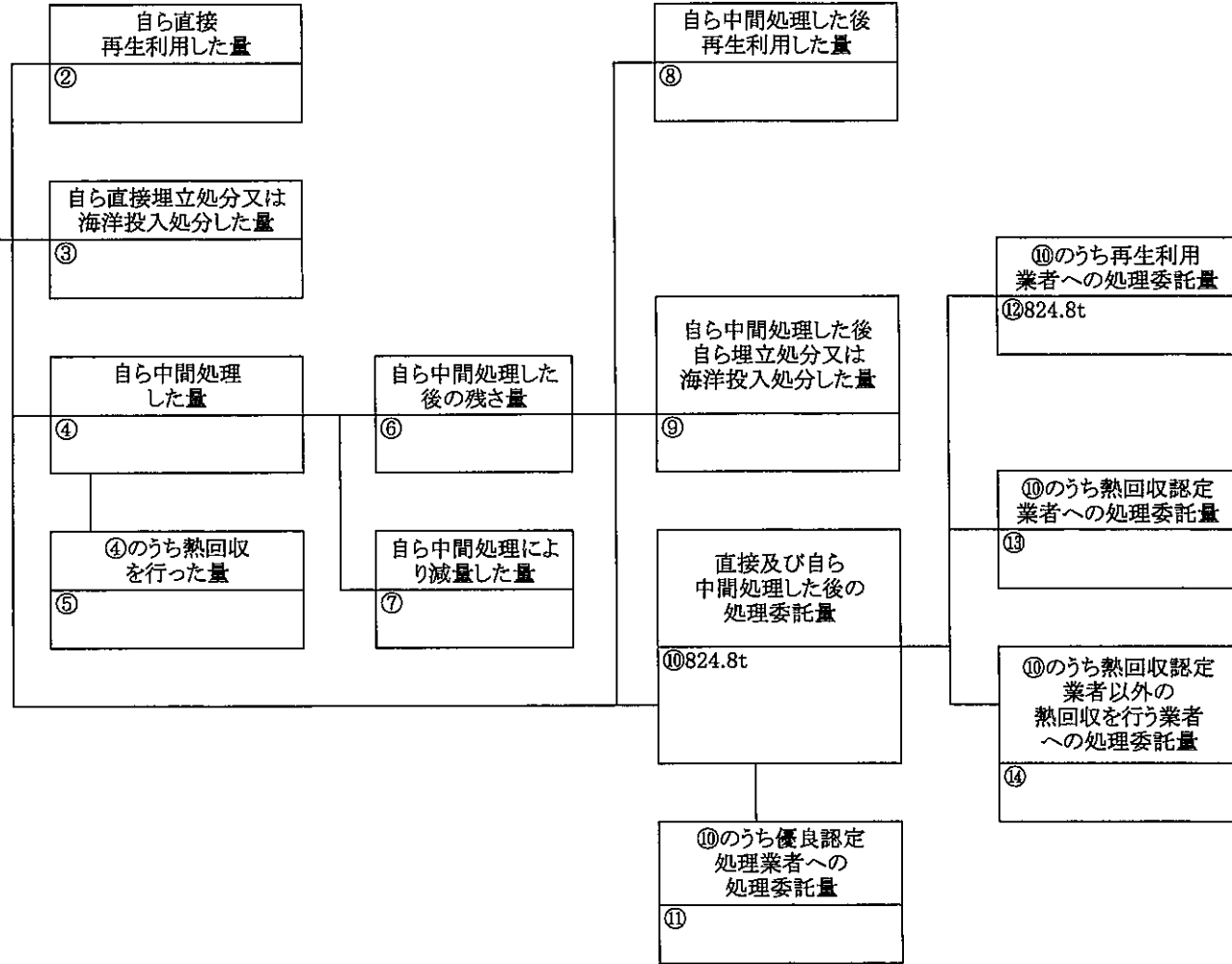
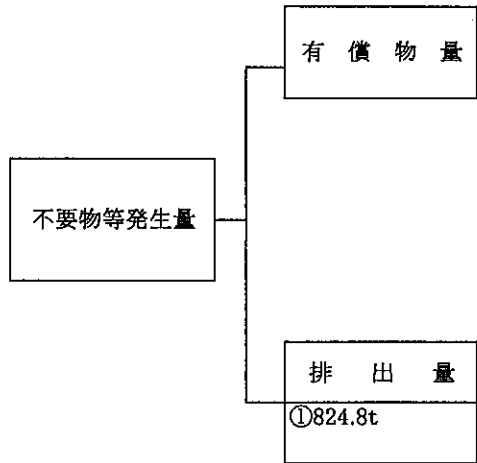
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら )



項目	実績値
①排出量	331.22t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	331.22t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	331.22t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)

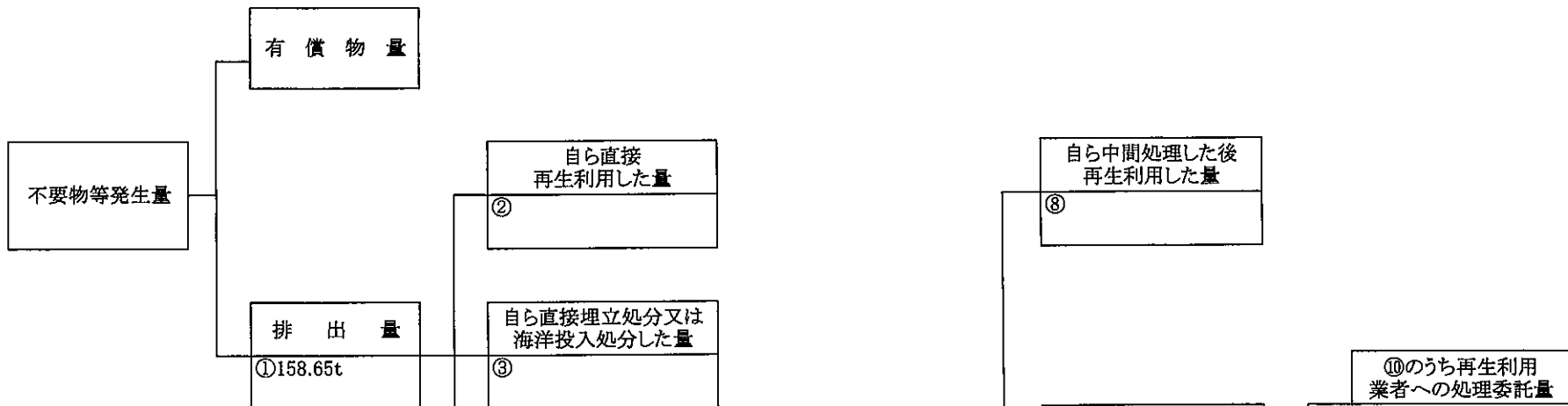


項目	実績値
①排出量	824.8t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	824.8t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	824.8t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



計画の実施状況

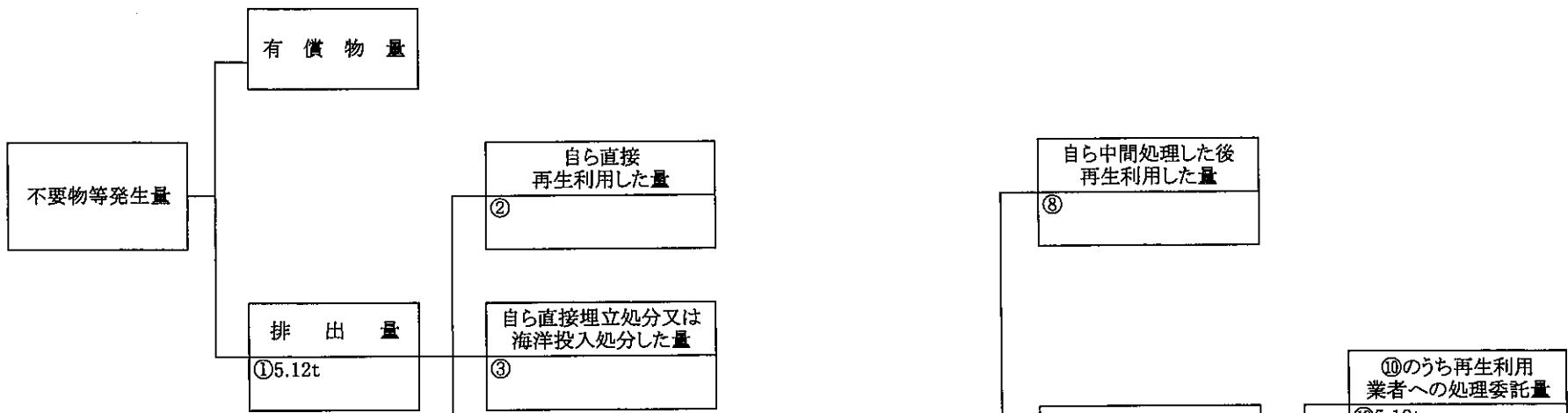
(産業廃棄物の種類: 汚泥)



項目	実績値
①排出量	158.65t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	158.65t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	158.65t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

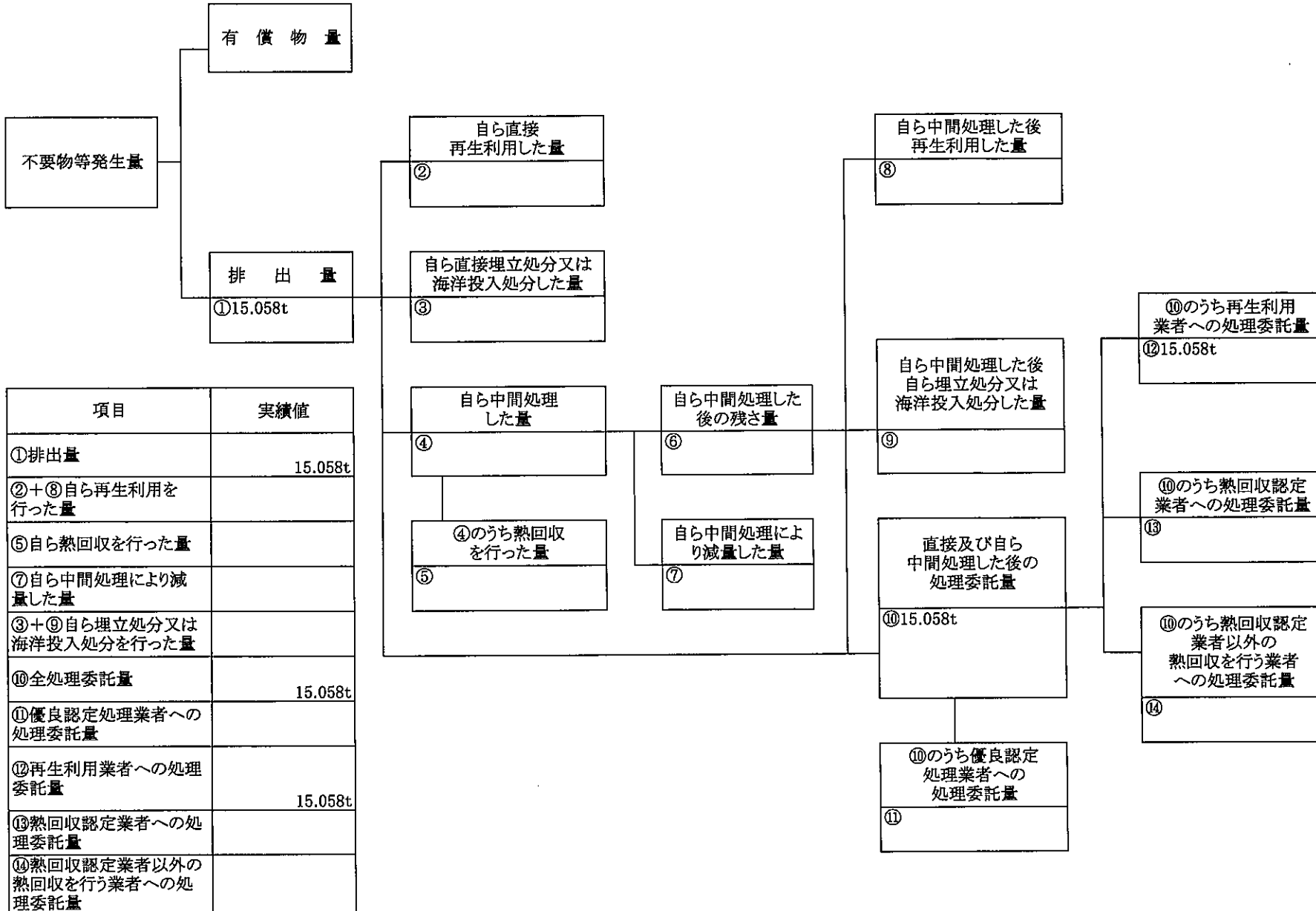
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	5.12t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	5.12t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	5.12t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

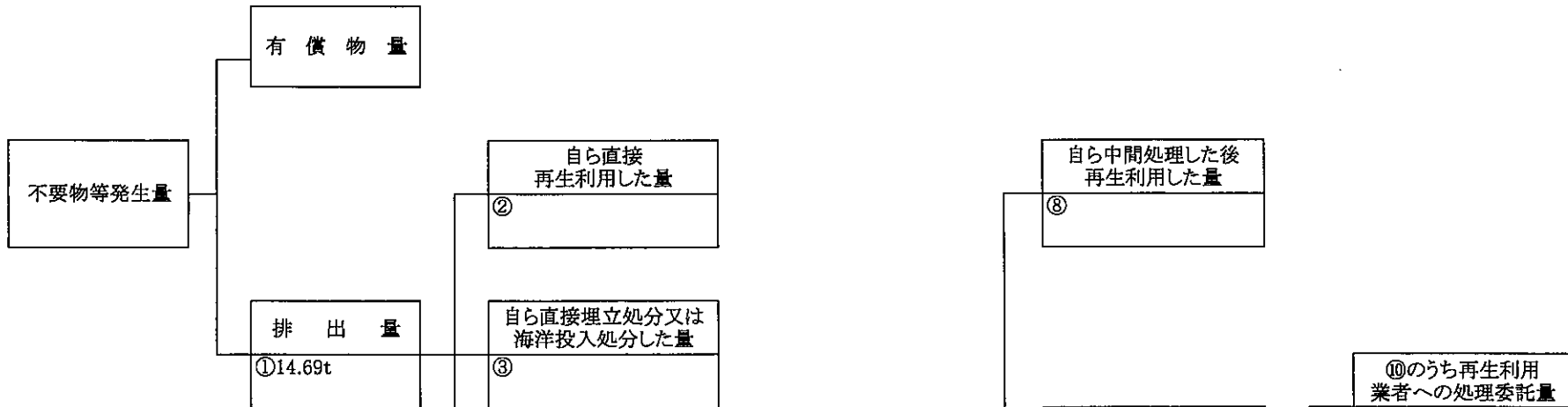
(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	15.058t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	15.058t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	15.058t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

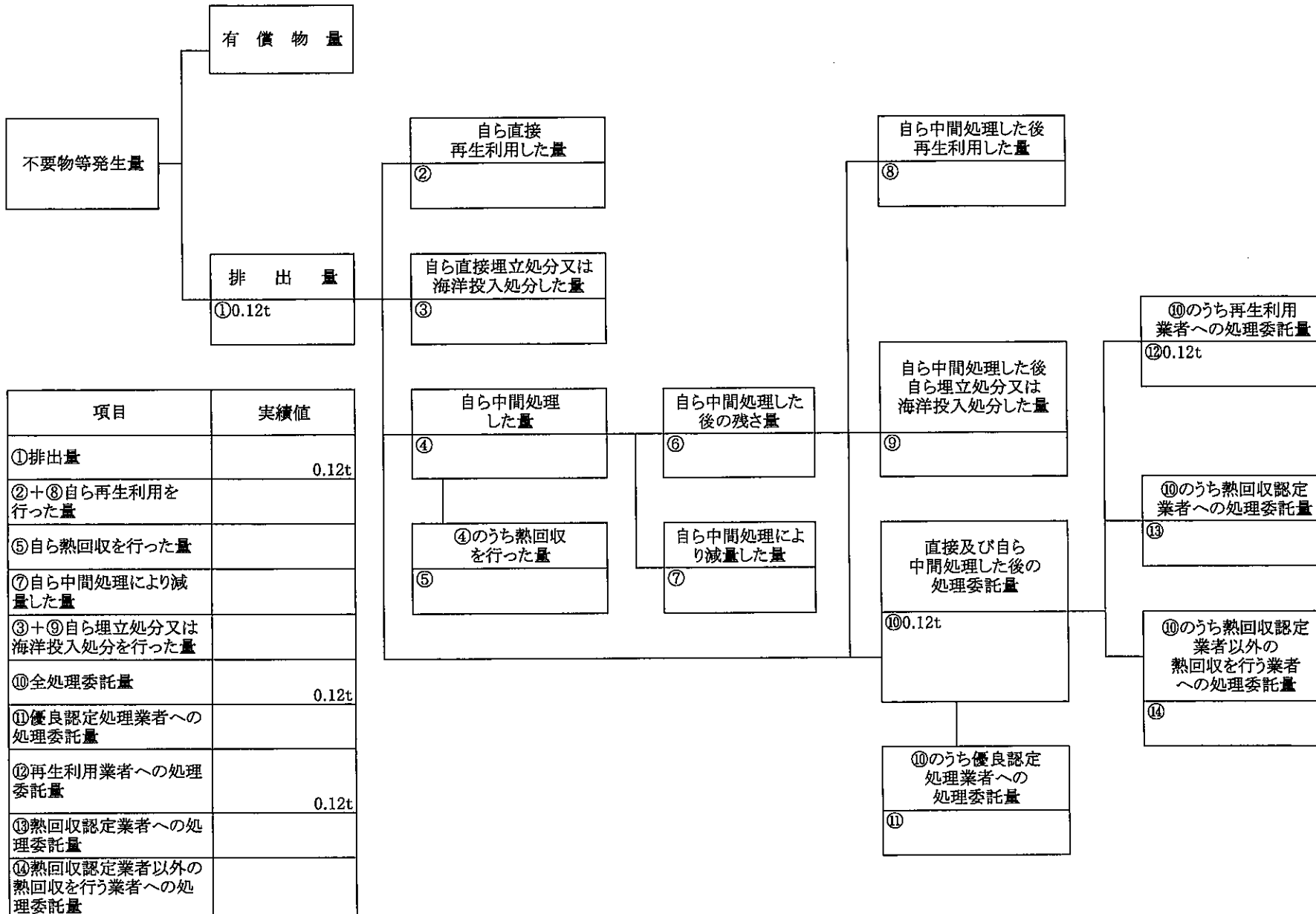
(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	14.69t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	14.69t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	14.69t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

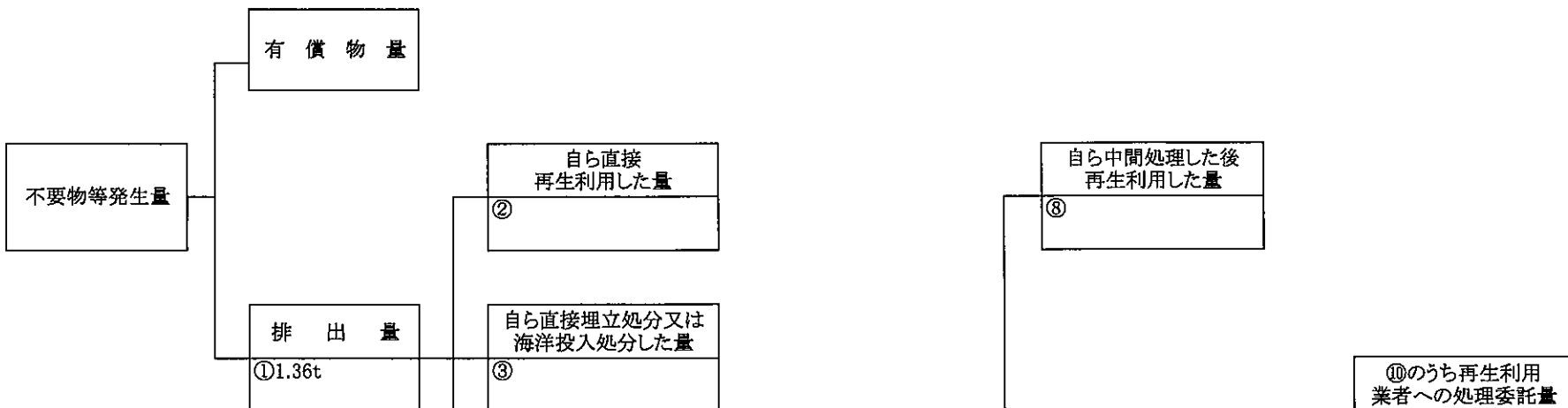
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)



計画の実施状況

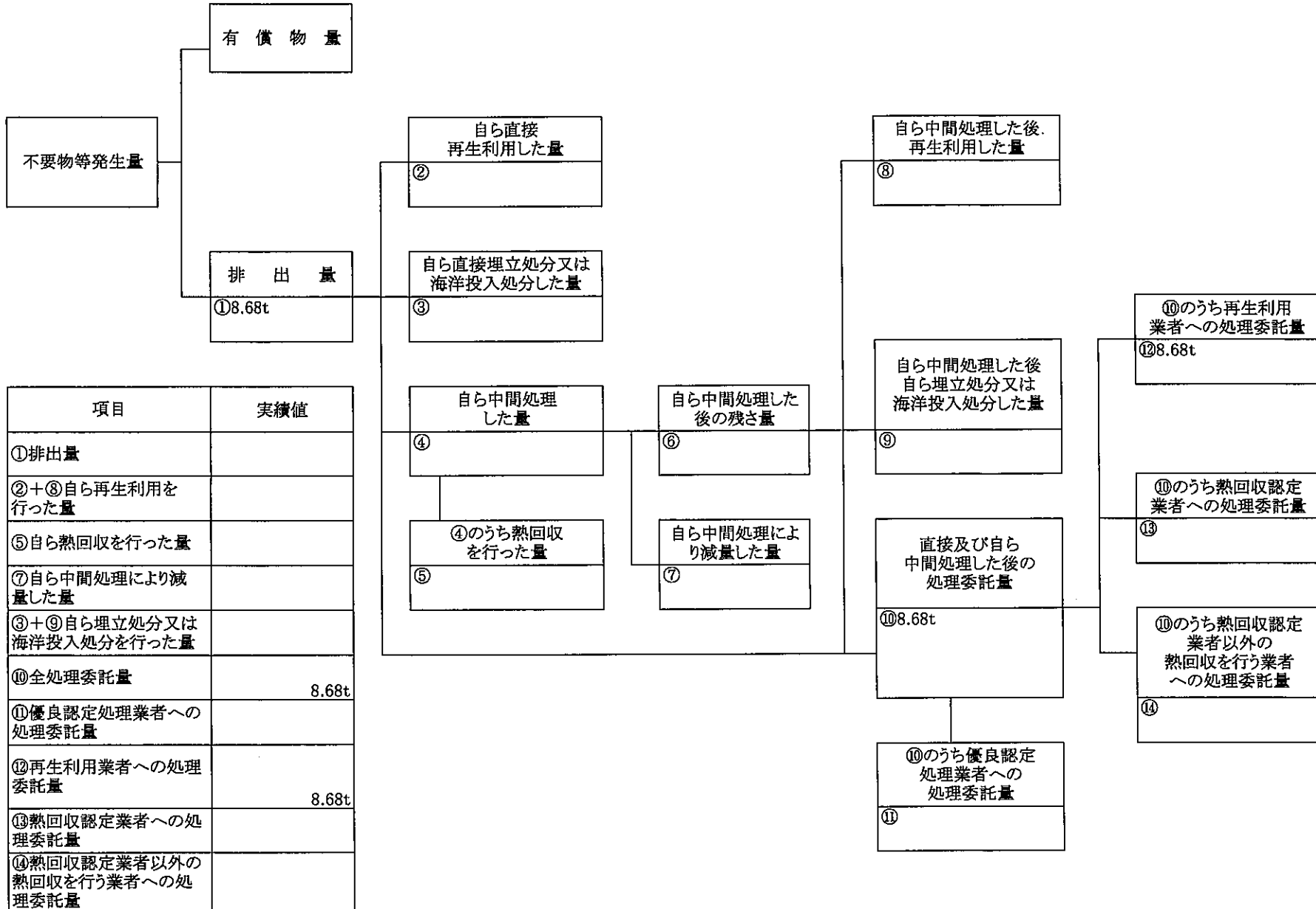
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	1.36t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1.36t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1.36t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス、コンクリート、陶磁器くず )



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、記入しないこと。